

# 港南造形タイムズ

第32号

## 芸文祭美術・工芸部門(コンクール)展で 芸文大賞を受賞



< 降 臨 >

本校2年生の山下圭祐さんの「降臨」(彫刻・立体分野)が、第32回大阪府高等学校芸術文化祭美術・工芸部門(コンクール)展で芸文大賞を受賞しました。

同美術・工芸部門展は、大阪の公立高校と私立高校と一緒に開催する同コンクール展で、絵画、版画、彫刻・立体、デザイン(グラフィック部門、イラスト部門、立体部門)、工芸の5分野があります。出品点数は789点で、入選が323点、そのうち優秀賞が25点(内 大賞1点)、奨励賞が40点、でした。

本校からは、188名が出品し、約6割の112名が入選し、その内10名が優秀賞(内 大賞1名)を、18名が奨励賞を受賞しました。

## 音楽部が大阪府高等学校芸術文化祭 吹奏楽部門で演奏

平成24年2月5日(日)池田市民文化会館アゼリアホールにおいて、大阪府高等学校芸術文化祭合唱・吹奏楽・器楽・管弦楽部門が開催(10:00~17:00)されました。

港南造形高等学校音楽部は、6ブロック(旧6学区)合同チームの一員として出演しました。午前出演した1年生は「となりのトトロ」、午後出演の2年生は「第六の幸福をもたらす宿」を演奏し、会場から大きな拍手をいただきました。



# 高校生アートライター大賞受賞式報告

1月28日に筑波大学で高校生アートライター大賞の表彰式があり、大賞を受賞した本校本校2年生の川久保美桜さんが、大賞を受賞したエッセイ「リアルなリアル〜3.11以後のChim↑Pomにみるメディアとしての表現」のプレゼンテーションを行いました。



## 京都造形大学 兵庫県立美術館との連携授業 —対話型鑑賞授業の取組み—



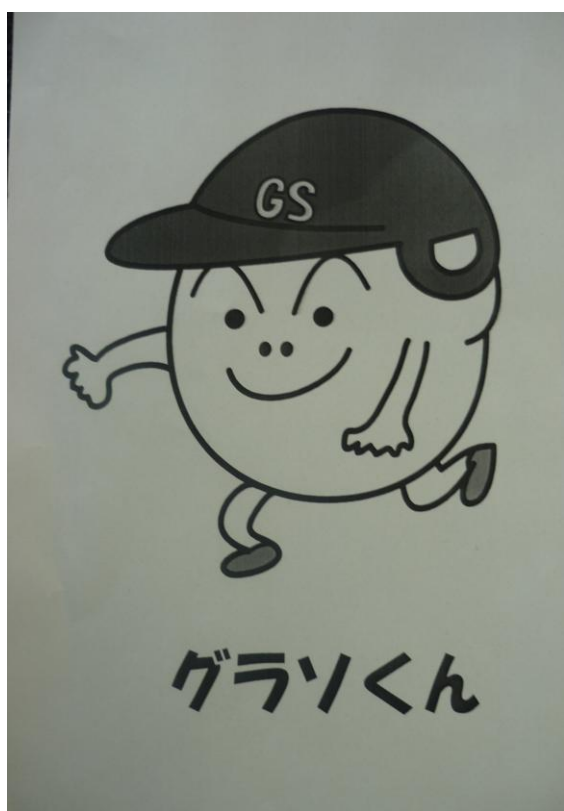
本校では、2年生の選択授業「美学美術史演習」で、美術館での対話型作品鑑賞プログラムを行っています。この取組みは、京都造形芸術大学のACOP（Art Communication Project）の取組みを本校生に合うようなスタイルにアレンジしながら、平成20年度から実施しているもので、さらに平成21年度からは同大学から講師（伊達隆洋先生、北野諒先生）をお招きし、平成22年度は兵庫県立美術館 コレクション展会場にて実施する

というように本格的なスタイルに進化させてきました。当初は生徒がナビゲーターを務め、生徒（時に担当教員）が鑑賞者になるという身内だけの取組みでしたが、昨年同大学の補講に参加し、大学生の方々に交わりながら授業を受け、今年はそれに加えて同美術館の協力を得て、美術館ボランティアの方々に鑑賞者に加えた形で行いました。学校という枠を超え、幅広い年代の方々との交流は、生徒たちにとって得難い体験となっています。

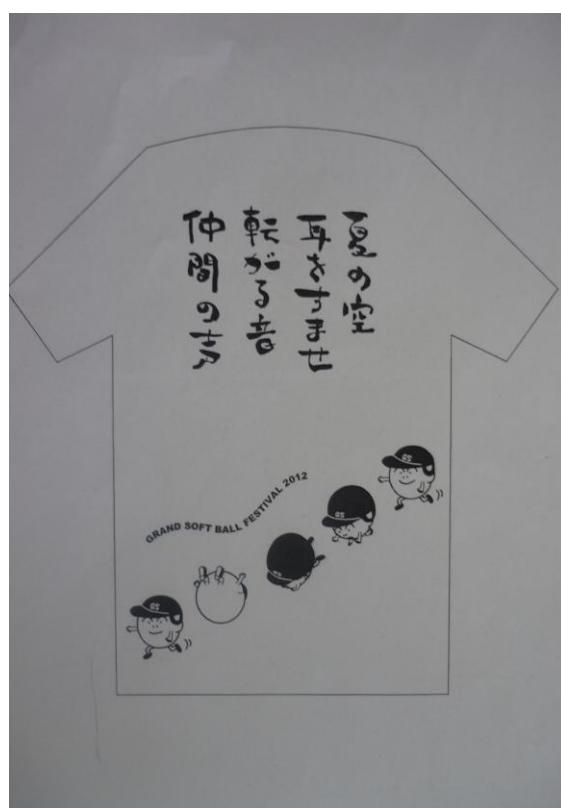
# 平成24年度全国盲学校野球大会用 マスコットキャラクターとTシャツデザインで 最優秀賞を受賞

大阪府が主管する平成24年度全国盲学校野球大会のキャラクター部門とTシャツ部門で本校3年生のチーム「DOSUKO | ードスコイー」(松田まりあ、屋良優奈、小谷かりん)が最優勝を、また、ポスター部門も同チームが佳作を受賞しました。

同チームがデザインしたキャラクターは大会キャラクターとして使用され、Tシャツは大会関係者や保護者が着用して大会を盛り上げます。



<マスコットキャラクター>



<Tシャツ>